

解 答 速 報

杏林大学医学部 英語

2020年 2月 3日実施

I

- (ア) ④ (イ) ① (ウ) ② (エ) ③ (オ) ④
 (カ) ③ (キ) ② (ク) ② (ケ) ④ (コ) ②

【講評】

例年通り，文法・語法に関連した適語補充が出題された。基礎的な知識を問うものが多く，おおかた正答しておきたいところだが，(キ)の前置詞の用法などはうろ覚えであった者も多いだろう。

II

- (ア) ② (イ) ④ (what he had to show)
 (ウ) ③ (エ) ⑤ (one mistake and you could)
 (オ) ④ (カ) ③ (up to, are spoken throughout)
 (キ) ④ (ク) ② (a US writer, minds, purposes)
 (ケ) ④ (コ) ① (you'd told me about that)
 (サ) ⑤ (シ) ④ (have to get it cleaned)

【講評】

昨年度までは会話文の大問であったが，本年度は語句整序が出題された。とはいえ解答に困るようなものは特になく，文法に則って順当に埋めていけば必然的に正答が得られるだろう。

III

- (ア) ② (イ) ①
 (ウ) ① (エ) ⑤
 (オ) ③ (カ) ①
 (キ) ⑤ (ク) ①
 (ケ) ④ (コ) ③
 (サ) ① (シ) ④

【講評】

昨年度までは誤謬訂正の大問であったが、本年度は文整序が出題された。前半のA～Cは論説文、D～Fは会話文の整序である。butなどのディスコースマーカート、this/thatのような指示語に着目するのはセオリー通りであるが、それでも会話文を中心にシチュエーションを把握しづらい表現が多く、一筋縄ではいかない。「この質問の後にはこの応答が来るはず」と、セットになる問答から決めていくと取り組みやすいだろう。幸いにして大問IVの長文は平易であったため、じっくりと取り組むための時間は充てられたはずだ。

IV

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| (ア) ② | (イ) ③ | (ウ) ② | (エ) ④ | (オ) ④ |
| (カ) ③ | (キ) ① | (ク) ① | (ケ) ④ | (コ) ③ |
| (サ) ④ | (シ) ④ | (ス) ① | (セ) ③ | (ソ) ④ |
| (タ) ① | (チ) ④ | (ツ) ② | (テ) ② | (ト) ① |

【講評】

例年通り、2つの長文による2部構成であった。1つ目は人類の火の使用に関する文章、2つ目は痛みの表現に関する文章であったが、いずれも本文は平易で読みやすい。選択肢も迷うものはそう多くないだろうが、本文の言い回しからの直接的な引用は少なく、真に内容を理解できているかどうか問われる出題であった。

【総評】

例年通り4題構成であったが、大問II・大問IIIでは過去3年間と比べて大きな出題傾向の変化が見られた。特に大問IIIの文整序問題はやや手強く、単純な英語力だけでなく論理的思考力を試される問いであった。しかしながら、大問IVの長文2題は例年並みの難易度であり、こちらでいかに失点を抑えられたかの方がむしろ鍵になると言えよう。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは YMS ☎03-3370-0410 まで

☎ 03-3370-0410

受付時間 8～20時 土日祝可
<https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156

携帯からOK 受付時間 9～21時 土日祝可
<https://www.mebio.co.jp/>
大阪市中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋